



Cisco Unity Connection 10.x のビデオ設定

次の項を参照してください。

- 「ビデオ サービスの検索」 (P.10-1)
- 「ビデオ サービスの新規作成」 (P.10-2)
- 「ビデオ サービスの編集」 (P.10-4)
- 「ビデオ サービス アカウント ステータス」 (P.10-6)

ビデオ サービスの検索

表 10-1 [ビデオ サービスの検索 (Search Video Services)] ページ


フィールド	説明
選択項目の削除 (Delete Selected)	ビデオ サービスを削除するには、表示名の左にあるチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除 (Delete Selected)] を選択します。
新規追加 (Add New)	ビデオ サービスを追加するには、[新規追加 (Add New)] ボタンを選択します。新しいビデオ サービスに適用するデータを入力する、新しいページが開きます。  (注) Cisco Unity Connection 10.0(1) では、同時に追加できるビデオ サービスは 1 つだけです。[新規追加 (Add New)] ボタンは、2 番目のビデオ サービスを追加しようとするとエラーメッセージを表示します。
表示名 (Display Name)	(表示専用) ビデオ サービスの名前。
メディア タイプ (Media Type)	(表示専用) ビデオ サービスが接続するメディア サーバのタイプ ([メディア タイプ (Media Type)])。

表 10-1 [ビデオ サービスの検索 (Search Video Services)] ページ (続き)

フィールド	説明
ステータス (Status)	<p>(表示専用) 次のイメージを使用するビデオ サーバとの正常な通信を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 成功イメージ: ビデオ サービスが追加されると、[問題は見つかりませんでした (No problems found)] を表示します。管理者がこのイメージを選択すると、Cisco Unity Connection が [タスクの実行結果 (Task Execution Results)] ページに成功ステータスを表示します。 警告イメージ: ビデオ サービスが追加されると、[1 つ以上の問題が見つかりました (One or more problems found)] を表示します。管理者がこのイメージを選択すると、Cisco Unity Connection が [タスクの実行結果 (Task Execution Results)] ページにエラー ステータスを表示します。 <p>[タスクの実行結果 (Task Execution Results)] ページには、次の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> [ビデオ サーバの状態 (Video server state)]: Unity Connection がビデオ サーバの IP アドレス、FQDN、またはホスト名に ping を実行できるかどうかを示します。 [ビデオ サーバの証明書 (Video server certificates)]: ビデオ サーバ証明書の確認中のエラーを表示します。 [クレデンシャルの検証 (Credentials verification)]: ビデオ サーバのユーザ クレデンシャルの認証結果を表示します。 [メディア機能 (Media capabilities)]: ビデオ サーバで使用されるコーデックのリストを表示します。

関連項目

- [Configuring Video Services and Video Services Accounts in Cisco Unity Connection 10.x, page 11-3](#)

ビデオ サービスの新規作成

表 10-2 [ビデオ サービスの新規作成 (New Video Service)] ページ



フィールド	説明
タイプ (Type)	[MediaSense] を選択します。
有効 (Enabled)	Cisco Unity Connection が、このサービスで指定されたビデオ サーバにアクセスできるようにする場合はこのチェックボックスをオンにし、アクセスを禁止する場合はこのチェックボックスをオフにします。
表示名 (Display Name)	サービスの識別に役立つ名前を入力します。
	
(注)	Cisco Unity Connection 10.0(1) では、同時に追加できるビデオ サービスは 1 つだけです。

表 10-2 [ビデオ サービスの新規作成 (New Video Service)] ページ

フィールド	説明
ビデオ サーバ (Video Servers)	<p>アクセスするビデオ サーバの詳細を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [ビデオ サーバ (1) (Video Server(1))] : Cisco Unity Connection がアクセスするビデオ サーバの完全修飾ドメイン名 (FQDN)、ホスト名、または IP アドレスを入力します。 <p> (注) [ビデオ サーバ (1) (Video Server(1))] フィールドは、IPv4 アドレスのみをサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> [ポート (Port)] : アクセスするビデオ サーバのポート番号を入力します。 [ビデオ サーバの自己署名の証明書を許可する (Allow Self Signed Certificate for Video Server)] : このオプションは、ビデオ サーバとの安全でない通信を確立します。 <ul style="list-style-type: none"> このチェックボックスがオンの場合、ビデオ サーバにインストールされたサードパーティ証明書が Unity Connection で確認されず、Unity Connection にインストールされた非信頼証明書を使用してビデオ コールが確立されます。 このチェックボックスがオフの場合、ビデオ サーバにインストールされたサードパーティの署名付き証明書が確認されます。ビデオ コールを確立するために、サードパーティの署名付き証明書がルート証明書で構成されていることを確認します。
ビデオしきい値 (Video Thresholds)	[同時セッション (Concurrent Sessions)] : ビデオ セッションの最大数を入力します。Cisco Unity Connection 10.0(1) では、一度に 25 のビデオ セッションのみをサポートします。
テスト (Test)	<p>[テスト (Test)] ボタンを選択すると、指定したビデオ サーバと通信できるかどうかを確認できます。</p> <p>管理者が [テスト (Test)] ボタンを選択すると、Cisco Unity Connection がビデオ サーバとの接続を確認し、[タスクの実行結果 (Task Execution Results)] ページにステータスを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [ビデオ サーバの状態 (Video server state)] : Unity Connection がビデオ サーバの IP アドレス、FQDN、またはホスト名に ping を実行できるかどうかを示します。 [ビデオ サーバの証明書 (Video server certificates)] : ビデオ サーバ証明書の確認中のエラーを表示します。 [クレデンシャルの検証 (Credentials verification)] : ビデオ サーバのユーザ クレデンシャルの認証結果を表示します。 [メディア機能 (Media capabilities)] : ビデオ サーバで使用されるコーデックのリストを表示します。

関連項目

- [Creating Video Service in Cisco Unity Connection 10.x, page 11-3](#)

ビデオ サービスの編集

表 10-3 [ビデオ サービスの編集 (Edit Video Service)] ページ

フィールド	説明
タイプ (Type)	(表示専用) ビデオ サーバにアクセスするビデオ サービスの場合、この値は MediaSense です。
有効 (Enabled)	Cisco Unity Connection が、このサービスで指定されたビデオ サーバにアクセスできるようにする場合は [有効 (Enabled)] チェックボックスをオンにし、アクセスを禁止する場合はこのチェックボックスをオフにします。
表示名 (Display Name)	各ユーザの正しいビデオ サービスを簡単に選択できるような表示名を入力します。
ビデオ サーバ (Video Server)	<p>アクセスするビデオ サーバの詳細を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [ビデオ サーバ (Video Server)] : Cisco Unity Connection がアクセスするビデオ サーバの完全修飾ドメイン名 (FQDN)、サーバ名、または IP アドレスを入力します。 [ポート (Port)] : アクセスするビデオ サーバのポート番号を入力します。
ビデオ サービス アカウント (Video Service Account)	<p>アクセスするビデオ サーバ アカウントの詳細を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [ユーザ名 (Username)] : ビデオ サービスのビデオ サービス アカウント ユーザ名を入力します。 [パスワード (Password)] : [ユーザ名 (Username)] フィールドに入力したドメイン サービス アカウントのパスワードを入力します。 [ビデオ サーバの自己署名の証明書を許可する (Allow Self Signed Certificate for Video Servers)] : このオプションは、ビデオ サーバとの安全または安全でない通信の確立に使用されます。セキュア モードでは、ビデオ サーバのサードパーティ証明書が Unity Connection で確認され、非セキュア モードでは、証明書の確認は行われません。 <ul style="list-style-type: none"> 非セキュア モードでは、このチェックボックスはオンで、ビデオ サーバにインストールされた自己署名またはサードパーティ証明書が Unity Connection で確認されません。 セキュア モードでは、このチェックボックスはオフで、ビデオ サーバにインストールされたサードパーティの署名付き証明書が確認されます。ビデオ コールを確立するために、サードパーティの署名付き証明書がルート証明書で構成されていることを確認します。
ビデオ しきい値 (Video Thresholds)	[同時セッション (Concurrent Sessions)] : ビデオ セッションの最大数を入力します。Cisco Unity Connection 10.0(1) では、一度に 25 のビデオ セッションのみをサポートします。

表 10-3 [ビデオ サービスの編集 (Edit Video Service)] ページ (続き)

フィールド	説明
テスト (Test)	<p>[テスト (Test)] ボタンをクリックすると、指定したビデオ サーバと通信できるかどうかを確認できます。</p> <p>管理者が [テスト (Test)] ボタンを選択すると、Cisco Unity Connection がビデオ サーバとの接続を確認し、[タスクの実行結果 (Task Execution Results)] ページにステータスを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ビデオ サーバの状態 (Video server state)] : Unity Connection がビデオ サーバの IP アドレス、FQDN、およびホスト名に ping を実行できるかどうかを示します。 • [ビデオ サーバの証明書 (Video server certificates)] : ビデオ サーバ証明書の確認中のエラーを表示します。 • [クレデンシャルの検証 (Credentials verification)] : ビデオ サーバのユーザ クレデンシャルの認証結果を表示します。 • [メディア機能 (Media capabilities)] : ビデオ サーバで使用されるコーデックのリストを表示します。

関連項目

- [Modifying Video Service in Cisco Unity Connection 10.x, page 11-4](#)

ビデオ サービス アカウント ステータス

表 10-4 [ビデオ サービス アカウント ステータス (Video Services Accounts Status)] ページ

フィールド	説明
ステータス (Status)	<p>(表示専用) Cisco Unity Connection ユーザ用のビデオ サービス アカウントのステータスを示すアイコン。ビデオ サービスのビデオ サービス アカウント設定が正常かどうかを確認するには、ステータス アイコンをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 成功イメージ：ビデオ サービスが追加されると、[問題は見つかりませんでした (No problems found)] を表示します。管理者がこのイメージを選択すると、Cisco Unity Connection が [タスクの実行結果 (Task Execution Results)] ページに成功ステータスを表示します。 警告イメージ：ビデオ サービスが追加されると、[1 つ以上の問題が見つかりました (One or more problems found)] を表示します。管理者がこのイメージを選択すると、Cisco Unity Connection が [タスクの実行結果 (Task Execution Results)] ページにエラー ステータスを表示します。 <p>[タスクの実行結果 (Task Execution Results)] ページには、次の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> [ビデオ サービスが有効です (Video service is enabled)] : ユーザがビデオ サービスを有効にしたかどうかを示します。 [ビデオ サーバの状態 (Video server state)] : Unity Connection がビデオ サーバの IP アドレス、FQDN、またはホスト名に ping を実行できるかどうかを示します。 [クレデンシャルの検証 (Credentials verification)] : ビデオ サーバのユーザ クレデンシャルの認証結果を表示します。 [メディア機能 (Media capabilities)] : ビデオ サーバで使用されるコーデックのリストを表示します。 [ビデオ機能 (Video capabilities)] : [サービス クラスの編集 (Edit Class of Service)] ページのビデオ設定が有効かどうかを示します。
エイリアス (Alias)	ビデオ サービス アカウントが関連付けられているユーザの Cisco Unity Connection エイリアス。
表示名 (Display Name)	ビデオ サービス アカウントが関連付けられているユーザの表示名。
ビデオ サービス (Video Service)	ビデオ サービス アカウントが使用するビデオ サービスの名前。
サービス タイプ (Service Type)	ビデオ サービス アカウントが接続するサーバのタイプ。
有効 (Enabled)	ビデオ サービス アカウントが指定したビデオ サービスに関連付けられているかどうかを示します。

関連項目

- [Configuring Video Services and Video Services Accounts in Cisco Unity Connection 10.x, page 11-3](#)